

2 一般環境大気測定局における状況

(1) 二酸化硫黄

平成14年度の測定は、9市2町の29測定局において実施した。このうち、佐伯市の2局は、測定機器が故障したため欠測とした。また、白木小学校(佐賀関町)は測定時間が6,000時間に満たなかったため、長期的評価の対象から外した。

環境基準達成状況

・長期的評価

長期的評価の対象測定局となる26測定局全てにおいて、一日平均値の2%除外値が0.005~0.015ppmの範囲にあり、環境基準を達成している。

・短期的評価

田中(旧佐賀関高校)測定局(佐賀関町)において、1時間値の環境基準値を超えた時間が1時間あった。

表1-3 二酸化硫黄に係る測定結果の概要(平成14年度)

年平均値	0.003 ~ 0.006 ppm
日平均値の2%除外値	0.005 ~ 0.015 ppm
1時間値の環境基準値(0.10ppm)を超えた測定局及び時間数	佐賀関町田中 (1)
日平均値の環境基準値(0.04ppm)を超えた測定局数及び日数	- (0)

表1-4 二酸化硫黄に係る環境基準の達成状況(長期的評価)

(大分市を除く県下の測定局)

区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
測定局数	20	20	19	18	18
有効測定局数	19	19	17	18	15
達成局数	19	19	17	18	15
達成率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全国達成率%	99.7	99.7	94.3	99.6	-

(大分市の測定局)

区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
測定局数	11	11	11	11	11
有効測定局数	11	11	11	11	11
達成局数	11	11	11	11	11
達成率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全国達成率%	99.7	99.7	94.3	99.6	-

備考 1 評価の対象となる有効測定局は、年間測定時間が6,000時間以上の測定局である。

2 平成14年度の全国達成率は未集計である。

年平均値の経年変化を図 1 - 5、図 1 - 6 に示す。全体では、ほぼ横ばいで推移している。

図 1 - 5 二酸化硫黄に係る年平均値の経年変化（全局平均）

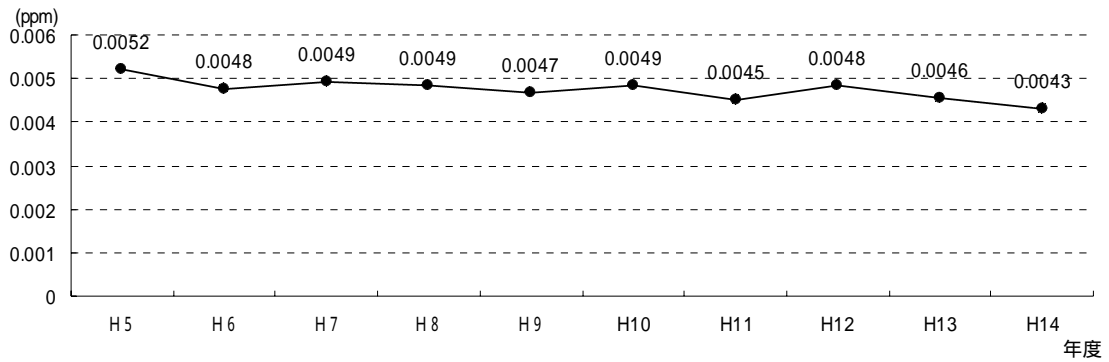


図 1 - 6 二酸化硫黄に係る地域別年平均値の経年変化

